



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2023～2024年度 RI会長 ゴードンR.マッキナリー
RIテーマ 世界に希望を生み出そう

クラブテーマ「芽生えた双葉を育て、希望の花を咲かせよう！」

会長 岡良森 幹事 篠木喜世

第1541回例会 2023.9.15(金)曇

司会：鈴木俊也君

ロータリーソング「日も風も星も」 指揮：高村勝則君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 岡良森君

9月も半分過ぎたというのに暑い日が続きますね。ロータリーの7月8月の各種委員会系のセミナーや説明会を経て活動的な秋のシーズンを迎えます。その中心は来月行われます地区大会です。重要な行事という人もいればお祭りとお表現する人もいます。地区内のロータリークラブの多くの会員が一堂に会するわけですから規模も大きなものとなります。当クラブでも例年通り各委員会委員長や入会若年クラスの会員に出席してもらうべく先日案内を送らせていただきました。初めて参加される会員の方はどうぞ大会の雰囲気を楽しんでいただきたいと思います。今回は、浜松駅直結の会場ということで新幹線にて参加します。帰りはもちろん飲酒可能です。また、来月は、ポリオ行事として、ここ数年続いておりますトニーヨーカドーでの活動もあります。三島3クラブの合同活動ですが、当クラブが世話焼きの年度ですので、社会奉仕委員会のメンバーのみならず委員会以外の会員の皆さんにもお手伝いいただければ幸いです。そして11月には、国際奉仕委員会の活動としてのカンボジア訪問も予定しております。本件に関しましては大村委員長からその都度ご案内があると思いますのでこちらもよろしくお願ひ申し上げます。ご存じのとおりクラブの例会数が数年前から減少したことで、どうしても連絡系の内容が多くなり恐縮です。

来週以降、ワールドカップバレーのUSA男子チームが三島で事前合宿を行うことをご存じの方はいらっしゃるでしょうか、そうですね。東レの体育館にて行います。21日にチームは日本にきます。24日にはエキシビジョンマッチが組まれております。三島市では、歓迎の意味でこの地域の学生と応援プラカードなどを今作成しておりまして、当日に駆けつけることとなっております。興味のある方はお出かけください。

本日紹介する乗り鉄ネタは、今となつては国内で唯一となつてしまった定期運航寝台特急“サンライズ出雲・サンライズ瀬戸”についてです。ななつ星、瑞風、四季島などの超高級寝台特急はコースや宿泊数を変えながら大人気列車として運行されております。これらについては別の機会に紹介したいと思います。で、サンライズですが東京出雲、東京高松を運行しております。列車はオール二階建てです。先頭7両と後方7両が同じダイヤで岡山まで走り岡山駅で切り離される形になります。面白いのは、内装が素敵なんです。ミサワホームが手掛けており、賞なども受賞しております。また、寝台室はべつに手軽に利用できる“のびのびシート”があり格安なため若い鉄

旅女子に人気です。シャワー室も300円で利用できます。この唯一の定期運行列車に皆さんは手軽に乗ることができます。なぜならこの列車は、毎日夜11時39分に隣の沼津駅から乗ることができるのです。金曜日の夜の例会に出席した後10時半まで近くで一杯やり、沼津に移動すれば、翌朝、出雲大社にお参りできるわけです。興味のある方は一か月前からの予約をしっかりとってください。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

渡邊真生君(三島西RC)

おめでとう

会員誕生日 9月5日 原 兄多君
9月5日 篠木喜世君
9月9日 服部光弥君
9月27日 米山晴敏君
9月29日 高橋大輔君
入会記念日 9月16日 大庭靖貴君
9月30日 藤川智徳君



出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	13/34	38.00%	17/34	50.00%
今回	28/34	82.40%	会員総数	38名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

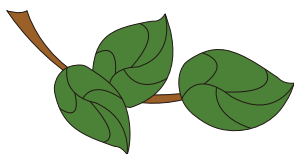
伊丹君、加藤君、土屋(巧)君、中山君、山口(雅)君

(*出席免除会員の欠席者 遠藤君 片野君 中村君 山本君)

あなたは文明に麻痺してませんか
 石油と水はどっちが大事ですか
 車と足はどっちが大事ですか
 知識と智慧はどっちが大事ですか
 批評と創造はどっちが大事ですか
 理屈と行動はどっちが大事ですか
 あなたは、感動を忘れてませんか
 あなたは、結局何のかのと言いながら
 わが世の春を謳歌していませんか

倉本 聡

ため息を
 シャボン玉にして
 青空に飛ばそう



スマイルボックス

藤川智徳君：昨日のゴルフコンペにて優勝しました。多大なるハンデをくれた俊也君ありがとう。あと、本日早退します。すみません。

山口辰哉君：あの時こうしておけば、誰もが悔やむ瞬間はスポーツに限らず人生のいろんな場面で訪れます。あの1打、だけじゃないな、もつといっぱいの失敗で優勝を逃しました。でも、準優勝できました。ありがとうございました。

大庭靖貴君：昨日のゴルフ同好会で3位になりました。馬も当りありがとうございました。

杉橋聡君：今日も日中35度超えとの事で、まだまだ夏が終わらないですね。この夏、子ども達とプール、花火の約束を果たせていないので、このチャンスに夏の楽しみを体験したいと思います。娘が二人いるので2000円スマイルです。

高村勝則君：昨日のゴルフコンペで馬当たりしました。その後の打ち上げで全部使いました。スマイルします。

渡邊仁也君：小型船舶の免許を取得しました。

大川泰君：中学の娘がバスケの新人戦、レギュラーとして試合に出場する事になりました。娘だけにドキドキが止まりません。スマイルします。

石井司人君：先週の土曜日、会長幹事他10名の方々に卒の結婚式にご出席を頂きありがとうございました。

三輪暁生君：明日9/16,13:00～日本大学国際関係学部と合同で中学生～大学生向けにインドネシア技能実習生と職業体験というセミナーを開催します。興味のある方は遊びに来て下さい。

野村諒子君：社会奉仕委員会、古着deワクチンにご協力をありがとうございました。今年度はまだまだご協力していただきたい企画がありますのでよろしくお願ひします。決まりましたらお知らせします。

石井和郎君：休みが続きました。スマイルします。

大村典央君：本日仕事の為早退させていただきます。

ROTARY NEWS

RI会長メッセージ

9月21日は「国際平和デー」です。国連総会はこの日を、24時間の非暴力と停戦を実践することで平和の理念に捧げる日と宣言しました。

しかし、行動人である私たちにとって、戦争を回避するだけでは十分ではありません。世界に希望を生み出すには、積極的に平和を訴えていかなければなりません。

では、どこから始めたらよいのでしょうか？世界では数え切れないほどの武力紛争が発生しており、世界の避難民人口はかつてないほど増加しています。支援の機会は無数にありますが、暴力と苦難の連鎖も終わりがなく見えます。

私からのアドバイスは、大きく考えながら小さく始めることです。パキスタンとインドのロータリー会員がインスピレーションを与えてくれます。

2020年3月、パキスタンとインドからそれぞれ約50名のロータリー会員が、パキスタンにある寺院カータープール・サビブで会合しました。この聖域は、両国で信仰されている宗教であるシク教の創始者、グル・ナーナクを称えています。2カ国間の緊張により、インドからの多くの宗教巡礼者がこの寺院を訪れることができませんでした。しかし、パキスタンは2019年、ビザ不要の回廊を開通させました。

今年初め、国境の反対側にいるロータリー会員が再度ここで再会しましたが、今回の参加者数は約2倍となりました。平和を築く取り組みには、勇気と大胆さが必要です。これらのロータリー会員が行ったのはまさにこれです。パキスタン政府は、インド人巡礼者をカータープール・サビブ寺院に招くことで、平和に向けて重要な一歩を踏み出しましたが、パキスタンのロータリー会員も、インドからのロータリー会員を友人や家族として歓迎し、次の一歩を踏み出しました。これこそ、積極的平和の実践です。

これらの平和構築者たちはここで満足したわけではありません。今年の集まりでは、クラブの代表者が、お互いの国について学び合うための長期的なコミットメントを示すため、双子クラブの認定証に署名し、さらなる平和構築活動のために協力していく決意を示し、ビデオチャットで合同例会も開きました。

ほかの文化の人たちとコミュニケーションを取り、その文化を学ぶことは非常に大切なことであり、ロータリーを通じれば、こういったつながりを簡単に築くことができます。異文化間の対話を始め、国境を越えた関係を構築する方法の一つは、現在のプログラムを基盤としたバーチャルな国際交換を、今よりもっと行いやすくすることです。

バーチャル交換では、世界の異なる地域の人びとがつながり、自国の伝統、考え方、価値観などを紹介し合うことができます。バーチャル交換によって、世界への扉が開かれます。例えば、バーチャル料理教室、外国語の習得、グローバルなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトの立案などを行うことができます。

これらのオンラインでの交流は、新たなつながりを作り、異なる社会を尊重する機会となります。そこで学んだ知識を取り入れ、人類のために生かしていくことが次のステップです。

これからどうなっていくかが楽しみです。¥